

(参考様式4)

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	山形3期地区活性化計画			
計画主体	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
山形県	60003	1	平成23年度～平成27年度	平成23年度
活性化計画の区域				
山形3期地区	1) 米沢市	【万世地区】		
	2) 天童市・河北町	【更生堰地区】		
	3) 村山市	【長島地区】		
	4) 川西町	【宮地地区】		
	5) 鶴岡市	【鎌田地区】		

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
1. 定住等の促進に資する遊休農地の解消 【農地等補完保全整備(小規模農林地等保全整備)】	0.33ha	0.29ha	87.8%	

(コメント)

【万世地区】

定住等の促進に資する遊休農地の解消を目指し、灌木、草等の除去、根及び地下茎の除去、運搬及び処分、畑面整地、耕起等に取り組み、目標は概ね達成された。

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
2. 定住等の促進に資する基盤整備の円滑化 【基盤整備(農用地等集団化)】	1年	1年	100%	事業着工までの年数

(コメント)

【長島地区】

定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき農用地等集団化の活用を図り、計画期間内である平成24年7月19日付けで基盤整備が事業採択され目標が達成された。

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
2. 定住等の促進に資する基盤整備の円滑化 【基盤整備(農用地等集団化)】	2年	2年	100%	事業着工までの年数

(コメント)

【更生堰地区】

定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき農用地等集団化の活用を図り、計画期間内である平成25年5月9日付けで基盤整備が事業採択され目標が達成された。

【宮地地区】

定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき換地等調整費の活用を図り、計画期間内である平成25年5月9日付けで基盤整備が事業採択され目標が達成された。

【鎌田地区】

農業経営の確立や地域農業の推進、集落の活性化等により農業従事者の定住維持に資する基盤整備の着手を目指し、農用地集団化として換地設計基準等を作成し計画期間内である平成25年5月9日付けで基盤整備が事業採択され目標が達成された。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
小規模農地等保全 保管整備	【万世地区】	耕作放棄地農地復元(障害物(老木等)除去、土壌改良、整地等) A=0.33ha	米沢地域担い手育成総合支援協議会	
管理主体		事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
米沢地域担い手育成総合支援協議会		平成23年度	平成23年度	平成23年10月24日
事業効果				
【万世地区】 定住等の促進に資する遊休農地の解消を目指し、灌木、草等の除去、根及び地下茎の除去、運搬及び処分、畑面整地、耕起等に取り組み、目標は概ね達成された。				

事業メニュー名	事業内容及び事業量	事業実施主体		
農用地等 集団化	【更生堰地区】	経営体育成促進換地等調整	A=80.0ha	天童土地改良区
	【長島地区】	経営体育成促進換地等調整	A=26.0ha	村山東根土地改良区
	【宮地地区】	経営体育成促進換地等調整	A=69.0ha	白川土地改良区
	【鎌田地区】	経営体育成促進換地等調整	A=36.6ha	笹川土地改良区
管 理 主 体		事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
天童土地改良区	【更生堰地区】	平成23年度	平成23年度	平成 24年 3月 26日
村山東根土地改良区	【長島地区】	平成23年度	平成23年度	平成 24年 3月 12日
白川土地改良区	【宮地地区】	平成23年度	平成23年度	平成 24年 2月 28日
笹川土地改良区	【鎌田地区】	平成23年度	平成23年度	平成 24年 3月 27日
事業効果				
【更生堰地区】 定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき農用地等集団化の活用を図り、計画期間内に基盤整備の着工がなされた。条件が悪い基盤の整備を行うため、農用地集団化として換地設計基準を作成したことにより安定した農業経営の確立や地域農業の推進、集落の活性化等により農業従事者の定住維持が図られるようになった。				
【長島地区】 定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき農用地等集団化の活用を図り、計画期間内に基盤整備の着工がなされた。条件が悪い基盤の整備を行うため、農用地集団化として換地設計基準を作成したことにより安定した農業経営の確立や地域農業の推進、集落の活性化等により農業従事者の定住維持が図られるようになった。				
【宮地地区】 定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき農用地等集団化の活用を図り、計画期間内に基盤整備の着工がなされた。条件が悪い基盤の整備を行うため、農用地集団化として換地設計基準を作成したことにより安定した農業経営の確立や地域農業の推進、集落の活性化等により農業従事者の定住維持が図られるようになった。				
【鎌田地区】 農業経営の確立や地域農業の推進、集落の活性化等により農業従事者の定住維持に資する基盤整備の着手を目指し、農用地集団化として換地設計基準等を作成し計画期間内に基盤整備の着工がなされた。条件が悪い基盤の整備を行うため、農用地集団化として換地設計基準を作成したことにより安定した農業経営の確立や地域農業の推進、集落の活性化等により農業従事者の定住維持が図られるようになった。				

3 総合評価

交付対象事業別概要に定められた事業活用活性化計画目標の達成状況については、概ね目標を達成し事業効果が発揮されている。
地区毎の評価は以下のとおり。

【万世地区】

活性化区域内の農業従事者等の定住促進を図るべく、遊休農地の解消を目指し、灌木、草等の除去、根及び地下茎の除去、運搬及び処分、畑面整地、耕起等に取り組み、計画期間完了後の農業従事者等の定住人口の維持、減少幅の縮小を目指し、適正に進められている。

【更生堰地区】

活性化区域内の人口減少の緩和を図るべく、定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき農用地等集団化の活用を図り、計画期間内に基盤整備の着工がなされており、計画期間完了後の人口の維持、減少幅の縮小を目指し、適正に進められている。

【長島地区】

活性化区域内の人口減少の緩和を図るべく、定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき農用地等集団化の活用を図り、計画期間内に基盤整備の着工がなされており、計画期間完了後の人口の維持、減少幅の縮小を目指し、適正に進められている。

【宮地地区】

活性化区域内の人口減少の緩和を図るべく、定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき換地等調整費の活用を図り、計画期間内に基盤整備の着工がなされており、計画期間完了後の人口の維持、減少幅の縮小を目指し、適正に進められている。

【鎌田地区】

活性化区域内の人口減少の緩和を図るべく、農業経営の確立や地域農業の推進、定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき農用地集団化の活用を図り、計画期間内に基盤整備の着工がなされており、計画期間完了後の人口の維持、減少幅の縮小を目指し、適正に進められている。

4 第三者の意見

交付対象事業別概要に定められた目標については、各地区とも概ね達成しており、所定の効果が発現していることから、適正かつ妥当なものと考えられる。

一方、農村部における人口減少は全国的に歯止めがかからない状況にあるが、本事業は、農業の持続的な発展と農村の振興に不可欠な農地基盤整備の実施に向けた取組みであり、今後、地域の特色に配慮した営農戦略、販売戦略等を併せて実施することにより定住等の促進に向けた事業効果が発揮されるものと考えられる。

(技術士(農業部門) 工藤 島)